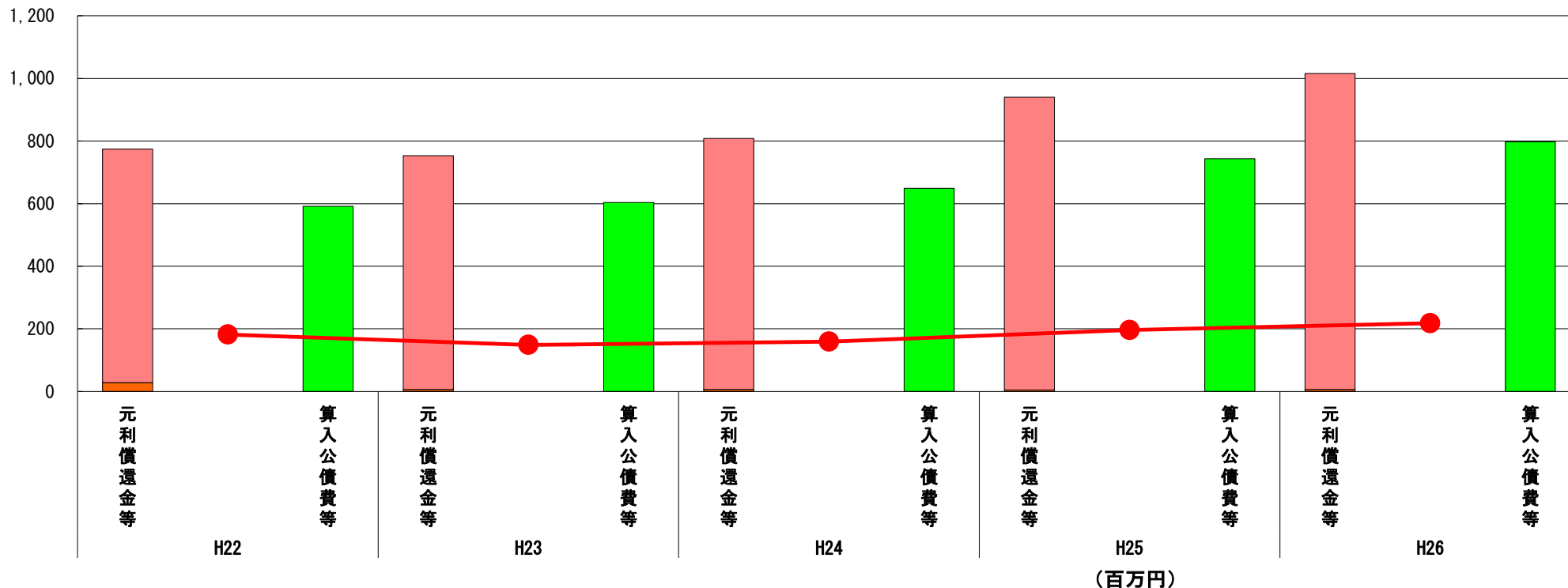


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

福岡県大任町

(百万円)



分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金		746	747	802	935	1,010
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		-	-	-	-	-
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		28	6	6	5	6
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		592	604	649	744	798
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		182	149	159	196	218

## 分析欄

元利償還金は、平成21年度～平成22年度に借り入れた過疎対策事業債約20億円の元利償還が始まったため、大きく増加している。  
 今後償還が終わっていく地方債もあるため、平成30年度をピークに公債費は減少していくと予想されている。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。